ライセンスに関する良くあるご質問と回答

Arcserve UDP 9.x

1. ライセンスの種類と数え方

1. **Arcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) には、どのような種類のライセンスがありますか？**

   Arcserve UDP は、保護対象のサーバ単位 (Advanced Edition のみ ; 物理環境に対応) と CPU ソケット数単位 (Advanced、Premium、Premium Plus の各エディション)、またはクライアント PC 単位 (1 PC、または 5 PC 分; Workstation Edition) のライセンスがあります。これらの他にも、サーバ数や CPU ソケット数に関係なく、保護対象のデータ容量 (TB 単位) の容量課金 (キャパシティ) ライセンスもご用意しています。

2. **容量課金 (キャパシティ) ライセンスの場合、どのように保護対象データを見積もれば良いのでしょうか？**

   保護対象のデータ (または、“ソースデータ”と呼びます) とは、実際に保護されるデータの総容量を意味します。100 TB のデータをお持ちであっても、10 TB を Arcserve UDP を導入して保護される場合は、10 TB 分のライセンスを購入ください。

3. **本番環境で容量課金 (キャパシティ)ライセンスを導入しました。同じライセンスキーを使ってさらに別のサーバにあるデータを保護することは可能でしょうか？**

   はい、可能です。ただし、購入いただいた保護対象データの総 TB を超えてお使いいただくことはできません。

4. CPU ソケット数が 2 つあるサーバを保護したいと思いますが、実際には 1 ソケットしか CPU を搭載していません。この場合 1 ソケット分のライセンスを購入すれば良いのでしょうか？

はい、こういった場合、稼働中の CPU ソケット分のライセンスで Arcserve UDP をお使いいただけます。

5. 仮想マシンを保護するためにサーバ単位ライセンスを利用することは可能でしょうか？

いいえ、サーバ単位ライセンスは仮想マシンをエージェントレス バックアップできません。仮想マシンのバックアップにはソケット単位ライセンスを仮想ホストの物理 CPU 数分購入してください。(エージェント ベースの仮想マシンの保護の場合、ハイパーバイザの指定によって仮想ホストに関連したライセンスを仮想マシンが利用できます。)

6. CPU ソケット単位のライセンスは物理サーバにも適用できますか？

はい、適用できます。物理環境のサーバでは、サーバ単位 (Advanced Edition のみ) と CPU ソケット単位の、どちらでもご購入いただけます

7. クラウド上のデータを保護する場合、Arcserve UDP のライセンスはどのように数えれば良いのでしょうか？

1 台のクラウド仮想サーバあたり 1 ライセンスをご購入ください。Advanced Edition をご利用の場合は、 1 クラウド仮想サーバにつき 1 サーバ単位ライセンス (※)。Premium Edition 以上の場合は、 1 クラウド仮想サーバにつき、1 ソケット単位ライセンス (仮想 CPU 数や仮想コア数に関係なく) が必要になります。

※ 旧バージョンから無償アップグレードを行った場合は、従来通りのご利用が可能です。

8. Microsoft 365 (Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams) を保護できる機能がオプションにありますが、必要なライセンスはどのように数えるのでしょうか？

バックアップ対象テナントに含まれるすべての有効なアカウント数のサブスクリプションを購入します。Exchange Online、SharePoint Online、OneDrive、Teams のいずれもバックアップできる 10 アカウント単位の年間サブスクリプション (1 年分のライセンス料とメンテナンスがセットになったライセンス体系です) で購入いただけます。容量課金 (キャパシティ) ライセンスなら、購入した容量範囲内でサブスクリプション数を無制限に利用できます。復旧ポイントサーバにバックアップされた Microsoft 365 データをテープに 2 次保管する場合には、いずれかの Arcserve UDP のエディションのライセンスが必要です。

9. 遠隔地へ仮想スタンバイするには、追加ライセンスが必要でしょうか？

いいえ、必要ありません。Arcserve UDP のライセンスは保護対象サーバの数だけ購入すれば結構です。

10.Arcserve UDP の CPU ソケット単位ライセンスで、複数の違うエディションを混在できますか？

はい。例えば、CPU ソケット単位ライセンスの Advanced Edition と Premium Edition のキーを同一コンソールで使用できます。

11.CPU ソケット単位、またはサーバ単位のライセンスと容量課金 (キャパシティ) 単位のライセンスを混在して利用することは可能でしょうか？

いいえ。同一の Arcserve UDP 管理コンソール上で、CPU ソケット単位、またはサーバ単位ライセンスと容量課金 (キャパシティ) ライセンスを組み合わせて利用することはサポート対象外です。

2. エディションと機能

1. Nutanix HCI 上の仮想マシンを保護したいのですが、どのエディションのライセンスを購入すれば良いでしょうか？

Nutanix 製品用のエディション「Arcserve UDP Advanced Edition for Nutanix – Socket」が用意されています。他の仮想環境同様に、CPU ソケット単位でのライセンスとなります。Nutanix 上のハイパーバイザーが AHV 以外（ESXi や Hyper-V）の場合でも「Advanced Edition for Nutanix」を購入してください。

また、Arcserve UDP 8.0 以降では Nutanix Files のスナップ ショットと連携したバックアップが可能です。この機能を使用するために必要なライセンスも「Advanced Edition for Nutanix」になります。バックアップ対象パスの中で指定するユニークなサーバ名の数分購入してください。仮想マシンのバックアップとは別にライセンスが必要です。

なお、「Advanced Edition for Nutanix」の上位エディションである「Premium Edition」、「Premium Plus Edition」でも Nutanix 環境のバックアップが行えます。

2. Arcserve UDP v6.5 Advanced Edition を導入し、メンテナンスが有効です。Arcserve UDP 7.0 以降で対応した Nutanix AHV 上の仮想マシンのバックアップを行いたいのですが、無償でアップグレードは可能でしょうか？

はい、可能です。Arcserve UDP 9.x への無償アップグレード申請の際に、Nutanix AHV を使用すると連絡事項欄にてお知らせ下さい。もし有効なメンテナンスをお持ちでない場合も「以前のバージョンからのアップグレード」価格が適用されます。

3. **Arcserve UDP v5 で Standard Edition を導入していますが、メンテナンスの更新を行っていません。Arcserve UDP 9.x で Advanced Edition へのアップグレードを検討していますがこの場合、どのようにすれば良いのでしょうか？**

   有効なメンテナンスをお持ちでない場合は、Arcserve UDP 9.x Advanced Edition の「以前のバージョンからのアップグレード」価格で購入いただくことができます。アップグレードの詳細は Arcserve ジャパン ダイレクト (TEL：0120-410-116) にお問い合わせください。

4. **Arcserve UDP Workstation Edition には Host-based VM backup と仮想スタンバイの機能が含まれるのでしょうか？**

   Workstation Edition は Host-based VM backup を実行する機能を提供していません。ライセンスが適用されているクライアント PC に Arcserve UDP Agent をインストールすることで、仮想スタンバイを利用できます。

5. **Arcserve UDP Workstation Edition では Microsoft SQL Server のバックアップは行えますか？**

   はい、SQL Server Express Edition に限り可能です。バックアップ対象の OS がクライアント OS であったとしても、SQL Server Standard Edition 等、有償の SQL Server がバックアップ対象に含まれる場合は Arcserve UDP Advanced Edition をご利用ください。

6. **異なるハードウェアにベアメタル復旧するために追加オプションの購入は必要ですか?**

   いいえ、必要ありません。Microsoft 365 を除くすべてのエディションの標準機能としてご利用いただけます。

7. **共有フォルダのバックアップを Arcserve UDP で行います。この際にどんなライセンスが必要ですか?**

   共有フォルダをバックアップするには、バックアップ対象の共有フォルダのホスト名/IP アドレス部の数だけ「Arcserve UDP Advanced Edition – Socket 」などのライセンスが必要です。複数の共有フォルダがあっても、ホスト名/IP アドレス部が 1 つで共通であれば、ライセンスも 1 つで結構です。

8. ある物理サーバの OS と共有フォルダのバックアップを Arcserve UDP で行います。この際ライセンスは 2 つ必要ですか?

いいえ、物理サーバのイメージ バックアップ用に「Arcserve UDP Advanced Edition – Server」などを購入されている場合、特例として、そのサーバ上の共有フォルダをバックアップするためのライセンスを別途購入する必要はありません。

9. Arcserve UDP 8.x で Advanced Edition を導入していますが、Arcserve UDP 9.x にアップグレードすることで アシュアード リカバリが利用できるようになりますか？

はい、Arcserve UDP 9.x の Advanced Edition では、アシュアード リカバリが利用できます。

10. Oracle RMAN 連携のバックアップでは Premium Edition が必要ですが、必要なソケット ライセンスは、どのように数えるのでしょうか？

物理サーバの OracleDB のバックアップでは、物理サーバの CPU ソケット数を数えます。仮想マシン上の OracleDB のバックアップでは、仮想マシンが稼働している仮想ホストの CPU ソケット数を数えます。クラウド VM 上の OracleDB のバックアップでは、クラウド VM 1 台ごとに 1 ソケットとして数えます。

3. 購入方法とライセンス キーの登録

1. ライセンス プログラム（永久ライセンス）とサブスクリプションの違いを教えてください。

ライセンス プログラム（永久ライセンス）は従来バージョンからのライセンスの購入方法です。購入したバージョンのソフトウェア ライセンスを永久に利用できる権利 (ライセンス) と、1 年/3 年/4 年/5 年のメンテナンス (※) をセットで購入します。

サブスクリプションはソフトウェアの使用権とメンテナンスがセットになった購入方法です。1 年または 5 年間の期間を選択でき、この期間を過ぎた場合は更新しない限りソフトウェアを使用する事ができません。ライセンス プログラム（永久ライセンス）は固定資産として管理し減価償却処理も必要ですが、サブスクリプションは資産管理や減価償却処理が不要なため会計上の負担が少なくなります。ソフトウェアを資産として持ちたくない場合にはサブスクリプションをご利用ください。

※ メンテナンスには期間中のテクニカル サポートと最新バージョンへの無償アップグレード権が含まれます。

2. サブスクリプションの終了日を過ぎるとどうなりますか？

サブスクリプション期間が終了するとバックアップが行えなくなります。また、メンテナンスが一体化されているため、最新バージョンへの無償アップグレードや、テクニカル サポートの利用もできなくなります。このような事態を避けるため、サブスクリプションが終了する前に更新してください。

3. サブスクリプションの更新はいつからいつまでに行えばよいですか？

サブスクリプション終了日の 2 か月前から更新のご注文を受け付けています。また、サブスクリプション証書の発行は Arcserve に注文が届いてから 4 営業日必要です。余裕をもって販売店に注文いただくことをお願いいたします。

4. サブスクリプション ライセンスを利用するにはオンライン アクティベーションが必要ですか？

いいえ、不要です。ライセンス プログラム（永久ライセンス）と同様、購入時に発行されるライセンス プログラム証書に記載されたライセンス キーを製品に登録することで利用できます。

5. 1 年サブスクリプションを購入すると毎年更新とライセンス キーの登録が必要ですか？

はい、毎年更新が必要です。更新の手間を省くには 5 年のサブスクリプション購入をお勧めします。
なお、サブスクリプション有効期間は、ご購入時の製品バージョンのサポートをお約束するものではありません。サポートするバージョンとサポート期間は、Arcserve サポート ポータルに記載された情報に準じます。製品ごとのサポートバージョンおよびサポート終了予定は、こちらのページで確認できます

6. サブスクリプション期間の終了後に、サブスクリプションを更新することはできますか？その場合、更新後のサブスクリプション期間はいつから始まりますか？

はい、すでに終了したサブスクリプションでも更新は可能です。その場合、サブスクリプション期間は過去のサブスクリプションの終了日を起点に延長されます。

7. ライセンス プログラム（永久ライセンス）とサブスクリプションを混在できますか？

いいえ、できません。ライセンス プログラム（永久ライセンス）のライセンス キーとサブスクリプションのライセンス キーは別々の Arcserve UDP コンソールで管理してください。
ただし、Microsoft 365 のバックアップ専用サブスクリプションのみ、永久ライセンスと混在できます。

8. 1 年サブスクリプションと 5 年サブスクリプションを混在できますか？

いいえ、できません。1 年サブスクリプションのライセンス キーと 5 年サブスクリプションのライセンス キーは別々の Arcserve UDP コンソールで管理してください。

9. ライセンス プログラム（永久ライセンス）のメンテナンスやサブスクリプションの期間を 5 年よりも長くすることはできますか？

個別に検討させていただきますので、販売店経由でご相談ください。

10.以前購入したサブスクリプションと、追加購入したサブスクリプションの期限をそろえることはできますか？

個別に検討させていただきますので、古い方のサブスクリプションの更新前に販売店経由でご相談ください。

11.エディション間のアップグレードはできますか？(例：Advanced Edition から Premium Edition へのアップグレード)

はい、ライセンス プログラム（永久ライセンス）ではアップグレード型番でご購入いただくことで下位エディションから上位エディションへのアップグレード（クロス グレード）が可能です。サブスクリプションにはアップグレード型番はございませんので、クロス グレードが必要な方は販売店経由でご相談ください。

12.Arcserve UDP のサブスクリプションは途中解約できますか？

いいえ、サブスクリプション期間中の解約および返金はできません。

13.現在所有しているライセンス プロムラム（永久ライセンス）をサブスクリプションに変更することはできますか？

いいえ、ライセンス プログラム（永久ライセンス）からサブスクリプションへ、またはサブスクリプションからライセンス プログラム（永久ライセンス）への変更はできません。それぞれ、新規にご購入ください。

14.Arcserve UDP Premium Plus Edition のライセンス キーを登録したところ、Arcserve UDP コンソール ライセンス管理画面のライセンス名に「Arcserve UDP 9.x Premium Edition」と表示されています。問題は無いですか？

Arcserve UDP Premium Plus Edition と Arcserve UDP Premium Edition では同じ Arcserve UDP の機能を使用できます。ライセンス キーも共通で、Arcserve UDP コンソール ライセンス管理画面のライセンス名に「Arcserve UDP 9.x Premium Edition」と表示されますが問題ございません。

4. Arcserve Backup/Arcserve RHA の利用

1. **Arcserve Backup を活用したファイルベースのバックアップ機能や、Arcserve Replication/High Availability (以下 Arcserve RHA) によるファイル レプリケーションとサーバ自動切換え機能を使用するには、 Arcserve UDP のどのエディションを購入すればよいですか？**
   Arcserve Backup を活用したファイルベースのバックアップ機能と Arcserve RHA によるファイルのレプリケーションは Premium Edition 以上で利用できます。Arcserve RHA によるアプリケーションデータのレプリケーションとサーバ自動切換え機能は、Premium Plus Edition で利用できます。

2. **Arcserve UDP を Arcserve Backup や Arcserve RHA と混在して利用できますか？**
   はい、可能です。

3. **Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition を購入し、Arcserve Backup を使用してバックアップを行ないます。Arcserve Backup のバックアップ サーバ自体をバックアップしない場合、バックアップ サーバ分のライセンスを購入する必要はありませんか？**
   はい、推奨される構成ではありませんが、バックアップ サーバをバックアップしないのであれば、その分のライセンスは不要です。Arcserve Backup の機能を使う場合であっても、Arcserve UDP Premium / Premium Plus Edition は保護対象に対してライセンスの購入が必要になります。

4. **NAS サーバの NDMP バックアップを行うには、どの Arcserve UDP のエディションを購入すれば良いでしょうか？**
   Arcserve UDP Premium Edition 以上で Arcserve Backup を使った NDMP バックアップが可能です 。ライセンス数は、バックアップ対象となる NAS サーバの台数分必要です。

   複数のコントローラを搭載している NAS をバックアップし、ルートディレクトリが共通のサーバ名となる場合は、ライセンスは 1 つで構いません。但し、ルートディレクトリをコントローラ毎に分けている場合は、コントローラの台数分ライセンスが必要です。

5. **Arcserve Backup のライセンスポリシーに、「VM Agent per Host License」が含まれているので、プロキシ サーバを保護するのに追加のライセンスは不要と書かれています。このポリシーは Arcserve UDP Premium Edition に含まれる Arcserve Backup でも同じでしょうか？**
   いいえ、プロキシサーバも保護するには、プロキシサーバ用に Arcserve UDP のライセンスが必要です。

6. **導入中の Arcserve Backup のライセンスが間もなく更新の時期を迎えますが、このタイミングで Arcserve Backup のライセンスを Arcserve UDP に変更することは可能でしょうか？**
   Arcserve Backup から Arcserve UDP へは製品をまたいだアップグレード (クロスグレード) が可能です。製品型番が用意されていますので詳しくは価格表をご覧ください。

7. **Arcserve UDP Premium Plus Edition は、ローカルの HA シナリオに加えて WAN 越しの HA シナリオにも対応可能でしょうか？**
   はい。Arcserve UDP Premium Plus Edition に含まれる Arcserve RHA のライセンスで、WAN 越しの HA シナリオを実行できます。

8. **単体で購入した Arcserve RHA と Arcserve UDP Premium Edition に含まれている Arcserve RHA でレプリケーションを構成することはできるのでしょうか？**
   はい、可能です。

5. その他

1. Arcserve UDP の無償トライアルを導入した環境を、正規のライセンスで使い続けることはできますか？その場合、Arcserve UDP の再インストールは必要ですか？

購入した製品のライセンスキーを適用することで、製品をインストールし直すことなく引き続き製品をご利用いただけます。

Copyright © 2023 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved. Arcserve の許可なく、複製・配布を禁止します。Linux®は、米国およびその他の国のLinus Torvalds の登録商標です。Windows は、米国およびその他の国のMicrosoft 社の登録商標です。その他すべての商標、商標名、ロゴはそれぞれの会社に帰属します。